

地域に愛される文化施設をつくるには？

《ご案内》

あなたの職場である文化施設（ホールや劇場）は、地域の人たちにとって魅力的で愛される場所となっていますか？また、そうなるためには、どのような考え方や事業が必要なのでしょうか？

本研修では、ワークショップ形式での楽しいグループ作業を通じて、まずは、施設が立地する町や地域の魅力や課題を考えてみます。そこから、どのような事業やサービスを発想していけば良いのか、参加者同士の知恵を分かち合いながら、次の一歩へ結びつく手がかりを探ります。

対象 鳥取県文化施設協議会会員施設等 職員

[等＝鳥取県文化施設協議会加盟施設以外の文化施設、
及び県外近隣文化施設（公民館含む）職員も参加可能です]

日程と開催場所

- ・第1回 2014年 1月17日（金）とりぎん文化会館 第5会議室
- ・第2回 2014年 1月21日（火）とりぎん文化会館 第4練習室
- ・第3回 2014年 1月28日（火）倉吉未来中心 セミナールーム6

★ 内容は、各回とも同じですので、いずれか1回ご参加ください。

各回の様子は、終了後、参加者にお知らせします。

★ 時間 受付 18時～

研修会 18時30分～20時30分（予定）

★ 参加費 無料（各回とも定員は20名）

申し込みについて

- ・申し込み方法 別紙参加申込書を、下記までメールかファックスでお送りください
- ・申し込み〆切 2014年1月14日（火）17：00
- ・申し込み先 鳥取大学地域学部文化庁事業アートプロジェクト事務室
メール：power_of_culture@adm.tottori-u.ac.jp
ファックス：0857-31-5076
- ・内容問合せ 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 五島朋子
メール：tgoto@rs.tottori-u.ac.jp 電話：0857-31-5126

主 催：鳥取大学地域学部附属芸術文化センター

共 催：公益財団法人鳥取県文化振興財団、鳥取県文化施設協議会

助 成：文化庁「平成25年度大学を活用した文化芸術推進事業」

ワークショップ・プログラム (予定)

- ・ファシリテーター・参加者相互紹介
- ・あなたの町はどんな町？（宝物を探る）
- ・あなたの町の将来像は？（ビジョンを描く）
- ・ホール、劇場ができることは？（事業をイメージする）
- ・相互評価／振り返り

ワークショップ・ファシリテーター

吉田まりえ 九州の暮らし創造研究所 代表

五島朋子 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授

ファシリテーター・プロフィール

★吉田まりえ

福岡県生まれ。

97年より九州・山口地域にて都市・地域計画及び公園、道路、公共建築物等をつくる際に市民の意見を反映する市民参加型のプロジェクトに多数関わる。04年より市民活動団体の支援のため、ボランティアマネジメント、組織運営及び人材育成講座、市民交流イベント等の企画・運営を行う。多様な市民の参加を得て事業を推進するまちづくりワークショップの実践経験をもとに、まちづくりワークショップの企画・運営の考え方、ファシリテーション等の各種手法のノウハウを市民、NPO・ボランティア団体、行政を対象にした研修も多数手がけている。

★五島朋子

長崎県生まれ。大学卒業後、地方公務員を経て、九州芸術工科大学(現九州大学)大学院博士後期課程に進学、参加型ワークショップ、芸術文化によるまちづくりを学ぶ。北九州市の劇団「うずめ劇場」制作、活水女子大非常勤講師等を経て、平成17年鳥取大学地域学部附属芸術文化センター専任講師として着任、現在に至る。

